

関西の商工協同組合 ニュース

2022年7月/第360号

発行/関西の商工協同組合
住所/豊中市上野東3-18-15-2F
電話/06-6858-5702
Fax/06-6846-2175
URL <http://kita-osaka.co.jp/kumiai/>
E-mail kitashoko@leaf.ocn.ne.jp



▲QRコード

5 兵庫ブロック交流会開催

7

地域における協同の取り組みを 活性化させる第一歩として

兵庫県川西商工会館で5月7日(土)に組合員10社と提携協力団体、協力議員が参加して兵庫ブロック交流会を開催しました。1月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期になり、5月開催になった次第です。今回のブロック交流会は、兵庫地域での異業種の組合員同士の連携を計り、あわせて当組合への要望などもお聞かせ頂ければと、組合理事と協力しながら進めました。参加者からは、事業活動だけでなく地域活動など今後に向けた活発な意見交換ができました。紙面の関係で抜粋になりますが、参加者の報告・ご意見を紹介します。

地域の特徴を捉え、関係を拡げる 取り組みを

◆**阪神産直センター**
職員に地域との関係や会員とのつながりを作ることを大切さを伝えています。また、医療関係者との情報交換を行い、配達だけでなく地域での活動にも取り組んでいます。

◆**やさい村**
代表が交代し、地域の特徴を捉えた活動を目指しています。会員さんの協力のもと、食に関する勉強会など関係を広げる取り組みを検討しています。

◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。



◆**父親より引き継いだ業界、時代の変化とともに考え方も変えて**
◆**但馬産直センター**
昨年3月からのスタートでまだ間もないが、現在は会員数も220件まで増えています。地域の議員さんの紹介などで徐々に広がりは始めている繋がりを大切にしたい。地域としてはいきませんが、商工組合にはできる限り協力をしていきたいです。

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

ウイルス対策のファーストアブローチは
“きちんと食べる”
よつ葉ホームテリバリー **やさい村**
新代表・山田智啓
新規会員 募集中!
(0120) 67-0473

【配達エリア】神戸市、明石市、加古川市、高砂市、姫路市、三木市、小野市、三田市、加東市の一部(旧・社町、滝野町)、播磨町、稲美町、西脇市の一部

地域の人と人の
つながりを大切に
関西よつ葉連絡会
南近江産地直送センター
【配達エリア】滋賀県東部・北部
滋賀県彦根市川瀬馬場町1268-4
☎0749-28-7603 FAX 0749-28-7605

生産・流通・消費を
笑顔で結ぶ
株北近畿産直センター
〒623-0115 京都府綾部市湊垣町奥ノ谷28
☎0773-21-7154 FAX 0773-21-7155

組合員紹介

住まいに関わる仕事に 幅広く対応します

カミノ住設 神野 治祥さん



の頃に島本牛乳配達センターで牛乳配達をしてきた縁で知り合っていた故・上田等さんから声をかけられました。それ以来、関西よつ葉連絡会の会員さんからくる仕事を引き受けるようになります。カミノ住設の始まりでした。

現在68歳になります。38年前、30歳のときにH住宅機器のサービス会社に就職し、10年ちよつと勤めました。最終的には滋賀県の支所で所長を務めました。不慮の出来事が原因で退職。「どうしようか？」と思っていた折、10代

にに至る歩みを学び、またともに生きる未来への展望を考えるフィールドワークになりました。

フィールドワーク ウトロ口地区と平和祈念館

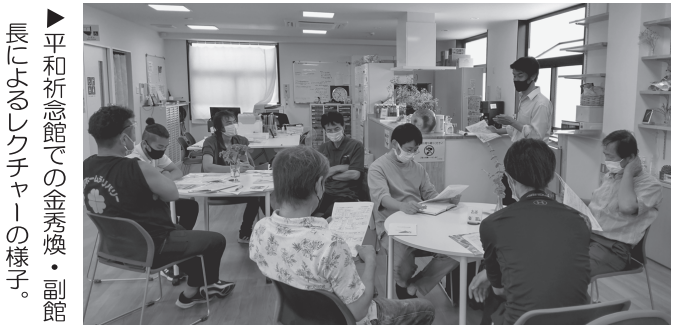
6/25 歴史的歩みを学び、ともに生きる 未来への展望を考える

研究所では、地域における様々な実情に触れ、人びとの活動から学び、それぞれの場で役立てることを願って、折に触れてフィールドワークを開催しています。この6月25日(土)には、産直の職員を中心に、在日朝鮮人の集住地区である宇治市ウトロを訪ねました。

戦時中に飛行場建設に伴う「飯場」として、朝鮮人労働者が集められた場所ですが、敗戦後、工事は中止になり、住民たちは使い捨てのようにその地に放置されました。水道も下水もない厳しい環境の中で、助け合い、暮らしをつないできましたが、土地所有の問題

から明け渡しを求められます。ウトロの住人たちは日本人の支援者とともに、この地で暮らすために立ち上がり、韓国の支援者や韓国政府、国際社会の協力もあって、街づくりの道筋をつけることができました。

現在、ウトロ地区には住人たちのための公営住宅が建てられ、また住宅に隣接して、ウトロの歴史と暮らしを伝える平和祈念館が、この4月30日にオープンしました。フィールドワークでは、副館長の金秀煥さんのお話のあと、祈念館の展示を見学し、また昨年8月に放火事件があった現場を訪れました。植民地時代から戦後、そして現



▶平和祈念館での金秀煥・副館長によるレクチャーの様子。

在に至る歩みを学び、またともに生きる未来への展望を考えるフィールドワークになりました。

(地域・アソシエーション研究所 下前 幸一)
◇ウトロ口平和祈念館 Ⅱ 京都府宇治市伊勢田町ウトロ口51
TEL 0774・41・7248

市民と共に 議員より

当事者と取り組んだ化学物質過敏症の問題に市外からも反響

2018年の川西市議会議員選挙に初当選させていたから、早くも4年が経とうとしています。議員活動をしていくうえで大事にしたいと考えていたことは、小さな声や少数の意見を市政へ届けたい、何でもできるスーパーマンにはなれないけれど一人ひとりに寄り添った活動をしていきたいと思いでした。

そういった思いの中で、化学物質過敏症の啓発に取り組んできました。当事者の方からお話を聞き、困っていることはどういったことなのか、解決していくにはどのような方法があるのか、何度も相談を重ねてきました。市の担当課へ一緒に話もしに行きました。化学物質過敏症というものが知られていないから周囲の人たちに理解してもらえないので、市として市民の方へ啓発をして欲しいと、一般質問でも取り上げてきました。

今では、市のホームページや広報誌での掲載、市独自のチラシやポスターも作ってもらい市内の各公民館等で掲

示や配布がされています。少しでも多くの人に知ってもらおう機会に良かっただけで、内容等について当事者の方から厳しいご意見をいただくことも多々あり、気を引き締める必要がありました。一つ一つの自治体で取り組んだことが多くの人に伝わっているんだなあと、議員としてのやりがいを感じる一コマでした。

(川西市議会議員 谷 正充)



今でもその言葉を大切に仕事に取り組んでいます。前職でキャリアを積んだおかげで、今の職人にありがちな「〇〇だけ」ではなく、水まわりが専門ですが、電気やガスを始め住まいに関わる内容に幅広く対応できることがセールのポイントです。阪神大震災を契機に住宅関連の資格制度が整備され、それ自体は悪くないと思うのですが、資格を取得し作業を行える職人の数が増えた一方、本当に技術のある職人が少なくなったのでは？と感じる今日この頃。

親と一緒に仕事をするのは難しいみたいで…(笑)。でも最近では、技術の継承をしてきて、一緒に現場で働きたいという動きもあります。これから先も組合員や地域の人たちの困り事に対応できるような、関西くらしの商工協同組合として、そういった技術の継承を支えたいと思っています。

2年ほど前に、組合員の木澤さん親子とコラボでリフォームしてもらったトイレは、快適でスタイリッシュで女性社員やお客さんにも好評です。

組合員からの コメント

リフォームなど、ぜひカミノ住設にお任せください！

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

安心して暮らせる世の中に!!

西京都共同購入会
075-331-6715

原発に頼らない社会へ!!
みんなのできることから

《配達エリア》 尼崎全市、西宮市(JR線以南)

(有)阪神産地直送センター
☎(06) 4868-4350 FAX (06) 4868-4351

核のない世界をつくろう!

(株)よつ葉ホームデリバリー京都南
〒617-0836
京都府長岡京市勝竜寺14-25
☎(075) 958-6688 FAX (075) 953-7570



6/4 但馬産地直送センター 第1期株主総会

2期目の更なる発展に向け頑張ります

2022年6月4日(土) 1時から、株式会社但馬産地直送センターの第一期定時株主総会を開催いたしました。2021年の3月22日(月)からスタートして、コース数は3コース、週間売り上げは55万8978円、1年でコース数は5コースになり、最後の週の売り上げは62万6707円になり、当期売上高3440万8757円、会員数は170件から225件、プラス55件でした。

当期の収支は、当期純損失金額164万6755円でした。赤字の主な原因は初期投資



資がそのままほぼ同額の金額の赤字になり、2期目は初めての投資がなくなるので黒字化する予定です。2期目の売り上げ目標は4500万円、会員数の目標300件でプラス75件、コース数はプラス2コースの7コースで行きます。

4号議案では、但馬産地の配送センターと物流の今後をどうしていくか、会員数が増えていけば、能勢産直のセンターではいづれ間借りできなくなるので、物流センターに物流かけてもらうか、別院センターに取りに行くか、これから相談していく事も考えています。今期はこれぐらいしかできないかと思っています。総会は無事、承認をしてもらいました。

..... (林 隻鳳)

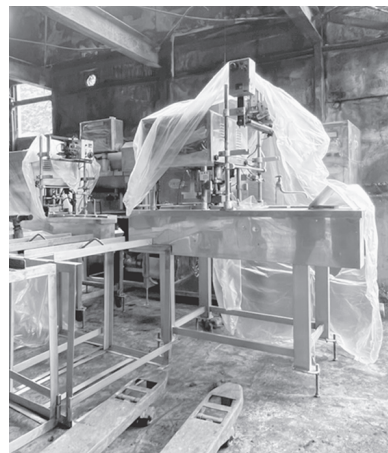
6/24 別院食品 第23期株主総会

ご支持を心に刻み 早期の生産再開へ

6月24日(金) 株式会社別院食品の第23期定時株主総会を開催しました。ご存知のとおり、今年1月23日の早朝に工場内のフライヤーから出火し、工場を半壊する事態を引き起こしました。集落への延焼と人的被害を免れたことがとても救いでした。地元住民の皆様、関西よつ葉連絡会の皆様を始め、関係各位に多大なご心配、ご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。

未だ工場再建の途上にあり

ますが、今回の火災を防ぐことができなかった原因を究明し、再建に向けた現状を株主の皆様にご報告し批判をいただくことが重要だと考え、定時開催を準備したものです。当日は、豆腐作りの基礎を担ってこられた諸先輩方を始め多くの方がかけつけていただき、



▲洗浄されきれいになった機械類

.....

経営者も、労働者も、住民同士も、共同経営が支える地域経済

田舎で働くこと3年、長く働いても変化の無い職場に見切りをつけ新天地伊丹へ越した。21歳の失業者は組合関係者に連れられ、とりあえず翌日からココで働けと30年が経過した。その間も団体や行政から誘いがあつたが、飽き性が災いして安心安定よりも、冒険の道を選んでしまった。

当時の希望は、広大な牧草地で草刈りをしたいが、街でも稼ぎたい。規模は小さくても経営者になりたいと、アンバランスな考えで着の身着のままだった。たまさか組合に

入り、思う存分、堤防で草刈りして、しかも給与が貰え、一石二鳥で嬉しくて仕方なかった。ただ、希望の職種であつても職場の自転車操業は続いていた。入社して10年、いよいよ債務超過に陥り、廃業から解散の協議が進むと、同僚や上司は退職した。見かねて「廃業するなら事業を引き継ぎたい」と、勢いだけの若僧は、仲間を支えられながら5年後に負債を消した。

職場の信頼回復に努めつつも、改善なき経営に我慢も限界に達し、組合(企業組合・協同組合・NPO)代表に就任したのが38歳だった。勢いあまつて、貯金も無い安月給の労働者が経営者になれば、後に事の重大さに躊躇した。何が良くて、何をすべきか、比べる判断材料が無く、思想や方向性が一致する企業や団体を訪問しては、理事会や総

設時に導入されたもので、20年以上使用してきた機械です。前日まで不備はなかったものの老朽化は否めず、上部の消火設備は設置していませんでした。加えて、点検後に職員が現場に不在という状況を生じさせた背景は、早朝の作業手順が緊張感を欠くものであつたと言わざるを得ません。事故後、多くの「よつ葉」会員の皆様から、激励の手紙

や生産再開を心待ちにしている旨のメッセージが各配送センターの職員を通して届きました。関西よつ葉連絡会が呼びかけた激励カンパにも、多大な支援金が集まったと聞いています。こうした別院食品の豆腐や揚げもの類へのご支持を心に深く刻み、関西よつ葉連絡会各社の協力も得て、早期の生産再開に向け準備を進めていきたいと思えます。(津田 道夫)

.....

この貧乏組織が変化したのは、リーマンショックと東日本大震災でした。ただ事ではない、他人事ではないと、瞬く間に物資や寄付が集まり、組合員の支援に感動しました。この頃から市民活動と事業展開が結束したように思います。みるみる仕事は繋がり、職場に投資する組合員のおかげで経営は安定しました。さらに、組織の要である法人名称や定款を一事に見直した地点から、仲間たちと語っていた理想の職場へ

.....

私の視点 持続可能な社会への模索

.....

.....

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

「いまの自分は本来の自分ではない。いつかきっと成功して見せる。」 と思っている人はそのまま生涯を終わる。迷ったらまずやってみる。挑戦する。 (有)東大阪産地直送センター 大阪府東大阪市玉串町東2-3-10 072-968-6601

人と人とのつながりを大切に! 地域で安心して暮らせる まちづくりを応援しています (株)能勢産直センター 072-734-2100

組合員企業の職員車検割引 好評実施中!! 見積もり無料!! 車のことなら何でも気軽にご相談、お電話ください!! 北大阪商工組合の車屋さん (株)協同自動車 072-729-2180

福祉の現場から

創立20周年 アットホームが 目指す社会

アットホームは、医療・介護・福祉サービスの会社です。「どんな病気や障がいがあっても、住み慣れた地域で家族のように助け合って生きていこう」という理念のもと2002年に看護師3人で開業し、今年で創立20周年を迎えました。

めには、なにをすべきか。難しい課題ですが、スタッフ同士率直に意見を交換し、日々実践しています。創業時は3人でしたが、理念に賛同し、実現しようと

集まってきたスタッフは、370人を超えるまでの規模になりました。今後はよりスタッフ間の交流や「共に働いている」という意識の共有を大切にしていきたいと考えています。(荒木 祥加)

今年も田植え!

6/4 楽農会

田んぼクイズで楽しんで



創立からの20年間、目の前の困っている人を助けるため、知恵をしぼり、関係者と協力して必要なものを作ってきました。その結果、訪問看護をはじめとして、訪問介護、通所介護、ケアプランセンター、サービス付き高齢者向け住宅、障がい者就労支援グループホーム、社内保育園を運営しています。

北摂・高槻生協では、地域農業にふれてもらい、自分たちの食べものをつくられる場に思いをはせる機会となることを願い、毎年6月に田植えを、10月には稲刈りイベントを開催しています。以前は、何十人も組合員さんやスタッフ、地元の農家さんにも

来ていただき、皆で手植えをし、一緒に生協自慢の食材でつくったお昼ご飯を食べていたのですが、やはりコロナ禍以降は大きく形を変えることになりました。参加人数を限定しつつ、なるべくたくさん来てもらえるよう、午前の部と午後の部を設定。会食は

厳しいので、お昼ご飯は出さないこととなってしまいました。それでも、何か楽しんでもらえればと、今回はスタッフの発案で田んぼクイズをやってみました。トラクター、コンバイン、田植え機などの写真を見せて、どれがどれかを

当ててもらい、農業機械についてあれこれお話しさせていた。ただ、というものでしたが、想像していたより正解率が低く、むしろクイズを出した私たちの方が驚かされる結果となりました。

皆で植えた苗は、夏の日差しにも負けずしっかり育ってくれています。無事、秋を迎えることが出来れば、また皆で集まって稲刈りをして天日干しにして出荷。一部は参加してくれた皆さんに食べてもらう予定です。世界で食料危機について話

つばやきコラム 苦しみをオープンにできる居場所を一緒に作っていききたい

幼少期・学生時代のトラウマティックな出来事が未だに癒えず、精神的に生きづらさを抱えている私が、どうにかして生きやすくなりたい。幾度となく諦めてしまいそうになり、でも何処かに私でも生きられる居場所があるのではないかと、死ななくても生きられる道があるのではないかと、そんな思いで、生きて来て26年経った。仕事を転々としてきたが、今は「北摂ワーカーズ」という現7名で構成された組織に約2年ほど組合員として、日々仕事をこなしている。

どうすれば、心の傷を癒やすことができるのか、それが私の人生の課題であり、生きる意味でもある。私にとって仕事と両立させながらそれが出来る場が北摂ワーカーズ。組合員の皆に話を聞いてもらったり自身や互いのバックグラウンドを共有し合うことの出来る職場は稀有な存在だと思う。だから大切にしていきたい。今は支えられてばかりな気もするけれど。

心の回復には膨大な時間がかかる気がしている。焦ったり人と比べてたりして苦しくなるときもあるけれど、私は回復を諦めない。いつか、私と同じような生きづらさを持った人を支えられるようになればいいな、一緒に生きていけたらいいなとも思う。

6月18日に北摂ワーカーズの定期総会が開催され、約30人ほどの参加がありその中には、20歳の学生さん達も参加してくれた。彼らも現社会での生きづらさや、将来への不安、過去の苦しみを抱えていた。一緒に苦しみを分かち合い、もっとお互いを知りながら、共に人生を歩んでいけば、希望が持てるのではないかなと思う。苦しみをオープンに、もっと気軽にできる居場所を私は必要としているし、作っていききたい。(北摂ワーカーズ 片山 千紘)

連載 高槻市議会議員の高木さんが マンガで世相を斬る! わ-わ- 言とります



編集後記

ロシアのウクライナ侵略の影響を受け、様々な物の価格が上がっています。さらに円安が進み、輸入物価の高騰が私たちの生活に重くのしかかっています。ちょうど参院選があり様々な政党が物価高対策を叫んでいます。どこも根本的な改善策を言わない事に違和感がありました。この問題の要点は円安ではなくて、あくまでも輸入物価の高騰であって、

国内のデフレが問題であり、自給率の低さも一因であるという事です。これがなぜなのか、どうしたらいいのかという議論がなされる日が待たれます。新たな政党も出て選択肢が増えたことで、政治に参加する人が増えれば良いと思いますが、新成人にとっては判断するための教育がされていないという問題もあるなあと感じます。まずは高校一年生になった息子にどんなかたちで教えられるのか考えてみようと思えます。(川西産直センター 武井 雅和)

経営のお役立ち情報 経営センターだより 経営相談 経理入力 給与計算 年末調整 経理講習会 など ●お気軽にお電話ください (株)商工経営センター 豊中市上野東3-18-15-2F ☎(06) 6846-9700 FAX 06-6846-2175

“世界”を変える暮らし 関西よつ葉連絡会 生産・流通・消費のつながりを地域から 〒567-0827 大阪府茨木市稲葉町4-5 ☎072-630-5610 FAX 072-630-5606